

のぼりべつ

の 広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

3月18日(金)、市内の7中学校で卒業式が行われ、646人の卒業生が母校に別れを告げました。

緑陽中学校(写真)では、卒業式終了後、在校生全員が沿道に並び卒業生を見送るセレモニーが行われ、在校生から贈られた花束を片手に、卒業アルバムに寄せ書きをする卒業生の姿が見られました。

特集

あなたと共に
暮らすまち

1998 No. 570
4/7



登別市教育長 後藤 八良



登別市長 上野 晃

特集

あなたと

平成10年度 市政執行方針・教育行政執行方針

共に暮らすまち

平成10年度予算案などを審議する『平成10年度第1回登別市議会定例会』が3月2日に開会し、上野市長は登別市がこの1年間にどのようにまちづくりを進めていくのかを示す『市政執行方針』を発表しました。

このなかで上野市長は「本年は、西胆振地域が連携して行う白鳥大橋完成記念イベントへ積極的に参画し、20世紀最後の年であり市制施行30周年の年となる西暦2000年には、新たな世紀に向けた市民のまちづくりの決意を表すためのイベントを行い、その企画に対するアイデアなどについて、市民のみなさんと共に考える年にしたい」と締めくくりました。

今号では、市政執行方針、教育行政執行方針、新年度の予算を紹介します。

一緒に考えてみませんか。私たちのまちの未来を。

市政執行方針(要旨)

重点事項

- ① 財政運営
- ② 地域経済の活性化
- ③ 地方分権と行政改革
- ④ 大型プロジェクトの推進

一つ目の重点事項

財政運営

変動が予測される財政環境に柔軟に対応できる財政運営を

◆起債制度の適切な運用を計り、不良債務を償還して財政負担を軽減することを基本に、変動が予測される財政環境に柔軟に対応できる財政運営を図りたいと考えています。

◆景気や金融の動向に注視し、市内経済を支えるため、市としての緊急の対策が求められたときに機動的に対応できる若干の余力を保持しながら、進行情の大規模プロジェクトと差し迫ったまちづくりの重要課題への取り組みを進めます。

◆**経常事務経費の原則2割カット、事業費はゼロからの見直し**

◆市の財政についてですが、歳入面で市税は、固定資産税・都市計画税に若干の増収が見込めるものの、法人市民税・個人市民税については、税制改正による軽減などに加え景気の低迷によ

り、所得の伸びが期待できないことから、前年比1.8%の減になる見込みです。

◆歳出面では、新こみ処理施設建設事業への投資が大きいというえ、整備区域の拡大が待たれる公共下水道事業、少子・高齢化社会に向けた総合的な地域福祉対策、老朽化した公共施設の整備など財政需要はますます膨らんでいます。

◆平成10年度の予算編成については、経常事務経費については原則2割カット、事業費についてはゼロからの見直しを徹底し、事業の優先度、緊急度、事業効果または後年度への財政負担などを総合的に考え合わせ、現在の経済情勢を念頭に今後の経済対策も配慮し、厳しい選択を行いました。

◆一般会計予算は、249億2千600万円、前年比5.1%の伸びとなり、新こみ処理

各会計予算総括表

(単位 万円)

会計区分	平成10年度予算額	伸び率(%)
一般会計	249億2,600	5.1
特別会計	国民健康保険	41億4,630 △2.0
	学校給食事業	4億610 △1.7
	公共下水道事業	27億4,980 0.2
	老人保健	61億5,340 1.0
水道事業会計	18億6,231 △5.8	
合計	402億4,391	2.7

施設建設事業費と受託事業費を除いた伸び率は2.9%となっています。

◆平成10年度の市債発行予定額は、約51億8千万円、前年比48.6%増の伸び率となりましたが、新こみ処理施設建設事業債、特別減税に伴う減税補てん債を除く通常債は約17億2千万円、前年比3.6%の増となりました。

二つ目の重点事項

地域経済の活性化

職種にとらわれないネットワークをつくり、新たなビジネスチャンスづくりを

◆平成10年度の地域経済対策としては、まず、市内経済の下支えを図るため、国や道の施策の動きをしっかりとらえてこれを活用しながら財政の許す限り公共事業の確保を図り、地場産業の高度化への取り組みを一層進めます。

◆異業種交流会や技術交流会、物産会、札幌のはりべつ交流プラザなどネットワーク形成への取り組みを支援するとともに、産・学・官の連携による産業技術力の向上と産業を担う人づくりを図ります。

◆金融環境変動への対応については、昨年設置した登別市金融環境変動対策連絡会議において、引き続き状況の把握や情報収集に努め、関係機関と連携して必要とされる対策を講じ、中小企業の安定経営を図ります。

◆基幹産業である観光については、国内観光対策として、広域的な観光客誘致活動の展開や修学旅行の誘致、白鳥

大橋など新たな観光資源を活用した商品開発を推進するとともに、登別市の豊かな自然や緑、スポーツや文化を活用したエコ・グリーンツーリズム(緑豊かな自然や美しい景観の中で、心のゆとりと安らぎを楽しむ滞在型の観光)などの整備を進めます。

◆海外観光対策としては、ホスピタリティを基本とする受け入れ態勢の充実を図り、東南アジア諸国への各種メディアを活用した観光情報の発信など、外国人観光客の誘致に力を入れます。

◆商店街の近代化として、幌別地区については、北

駅前通りの街路整備が本格化し、富士橋の架け替えが着手されます

ので、工事に伴う商業地区への影響をできるだけ少なくするよう工事期間の短縮を図り、幌別駅西口の街区再編を含めた周辺整備やアーニス横の「仮称」ふれあい緑地の整備を進め、富士橋大通り商店街の近代化を引き続き支援します。

◆登別温泉については、バイパス事業の促進を図るとともに「登別温泉地区まちづくり推進協議会」の活動を引き続き支援し、また訪れたいと思える登別温泉郷の再生を目指し整備計画の策定を進めます。



▲整備が進められている北駅前通り

平成10年度の主な事業の予算額

【一般会計】

議会費	
○議会だより発行経費	178万円
総務費	
○OA化推進に要する経費	1,149万円
○職員研修等経費	851万円
○国際交流に要する経費	963万円
○いきいき推進事業補助金	300万円
○人と自然のふれあい拠点(ネーチャーセンター)整備事業費	300万円
民生費	
○町内会運営助成金	3,289万円
○地域福祉活動促進事業補助金	803万円
○身体障害者テイクサービス経費	2,490万円
○心身障害者地域共同作業所運営補助金	363万円
○鉄南ふれあいセンターエレベーター障害者用トイレ設置事業費	8,151万円
○独居老人等緊急通報システム機器設置に要する経費	792万円
○在宅介護支援センター運営に要する経費	1,131万円
○訪問看護ステーションに要する経費	76万円
○ホームヘルプサービスに要する経費	797万円
○高齢者地域ケア推進に要する経費	165万円
○在宅老人デイサービスに要する経費	5,258万円
○仕事と育児両立支援事業費	1,050万円
○交通安全施設整備事業費	1億4,559万円
衛生費	
○母と子の健康づくり事業に要する経費	1,102万円
○精神障害者社会参加支援等対策経費	217万円
○老人保健事業に要する経費	5,964万円
○墓地施設整備事業費	1,030万円
○千歳最終処分場整備事業費	728万円
○新こみ処理施設建設事業費	40億5,341万円
労働費	
○勤労者特別融資積立金	2億6,500万円
○雇用対策支援事業費	3,707万円
農林水産業費	
○団体営公共牧場整備事業負担金	7,242万円
○西札内地区道営農免農道整備事業負担金	3,375万円
○鉢山地区農道整備特別対策事業負担金	9,000万円
○中札内地区緊急畑地帯総合整備事業負担金	1,400万円
○小規模治山事業費	801万円
○鷺別漁港整備事業負担金	420万円
○鷺別漁港船揚場整備事業補助金	213万円
商工費	
○中小企業相談事業補助金	900万円
○金融緊急対策信用保証料補給金	847万円
○中小企業特別融資積立金	4億3,700万円
○登別観光協会助成金	2,250万円
○観光振興特別対策事業補助金	5,000万円
○登別温泉園地自然遊歩道整備事業費	250万円

三つ目の重点事項

地方分権と行政改革

◆農林水産業については、引き続き農道や漁港など、生産基盤施設の整備を進めるとともに、新たに民有林の無秩序な伐採を防止するため「登別市森林整備計画」の策定に取り組みます。

◆鷺別漁港については、平成10年度事業で完成しますので、その適正な利用・管理を図ります。

◆公共事業が縮減される状況にあつて、市内の建設業界への影響が懸念されていることから、事業体においては協同化や協業化なども視野に入れ、積極的に経営体質の強化や技術力の高度化に努めるとともに、同業種、異業種を問わず交流を進めてネットワーク化を図るなど新たなビジネスチャンスづくりへの取り組みを進めることが必要と考えます。

スリムで機動的な体制づくりを進め、市民総参加のまちづくりを

◆地方自らが体質の改善を図り、スリムで機動的な体制づくりを進めることはもとより、より広範な住民参加によるまちづくりを展開していかなければならないものと考えています。

◆多彩に展開される市民活動は、地方が自らの知恵と努力で進める地方分権時代のまちづくりの担い手として大きな役割を果たすものと考えます。

◆昨年は、登別青年会議所と登別商工

会議所青年部、登別青年会のみなさんが、柔軟な発想と持ち前の行動力を生かし、若い力を結集してまちづくりのための新たなネットワークづくりに取り組み、女性のみなさんも男女共同参画社会づくりを目指して懇話会を結成し、女性の社会参画の促進や女性行動計画づくりへの取り組みを始めました。

◆市としては、自助・自律を基本としたさまざまな市民活動と連帯し、また、活動を支援しながら市民総参加のまちづくりを進めます。

◆本年は、市民憲章制定30周年の年を迎えます。この節目の年にあたり、市民一人ひとりが市民憲章の精神を一心一度心に刻み、積極的にまちづくりに取り組む運動を市民憲章推進協議会と共に進めます。

市民に分かりやすい行政改革を目指し、引き続き広聴広報活動の強化を

◆行政改革については、市が担うべき役割と市民自身に求められる役割などについても視野に入れながら、執行体制の肥大化を招くことなく、多様化し増大する行政ニーズに対応していくことを基本に、平成7年11月「登別市行政改革実施計画」を策定し、市民のみなさんのご理解とご協力を求めながら進めてきました。

◆市職員の意識改革への取り組みですが、行政改革にとって最も重要なことは、計画的・継続的に、そして反復的に取り組むことにあります。その取り組みを担う職員の政策形成力や創造力

平成10年度の主な事業の予算額

土木費	
○市道改良・舗装事業費	4億9,751万円
○市道舗装排水設備事業費	4億5,800万円
○道道改良受託事業費	8億3,153万円
○橋梁新設事業費	1億112万円
○河川改修事業費	4,636万円
○景観形成基本計画策定に要する経費	50万円
○公園整備・新設事業費	1億5,910万円
○街路整備事業費	2億4,710万円
○防衛施設周辺整備事業費	8,175万円
○地籍調査事業費	824万円
○公営住宅改善に要する経費(高齢者・障害者施策)	225万円
○公営住宅駐車場整備事業費	2,000万円
○公営住宅(桜木団地)建替事業費	8億5,543万円
消防費	
○水櫃付消防ポンプ自動車購入費	5,478万円
○高規格救急自動車購入費	3,901万円
○消火栓新設事業費	1,250万円
○大容量防火戸新設事業費	1,991万円
○防災機器等整備事業費	443万円
○無線吹鳴モーターサイレン設置調査委託料	200万円
教育費	
○教育用コンピューター導入経費	2,364万円
○小・中学校タイオキシシン対策に要する経費	650万円
○教育施設水洗化事業費	4,000万円
○小学校校舎等整備事業費	3,020万円
○中学校校舎等整備事業費	3,850万円
○三市合同文化講演会開催負担金	105万円
○陸上競技場整備事業費	997万円
その他	
○公共施設営繕費	1億190万円
○市道常時補修費	7,290万円
○公営住宅補修費	1億423万円
【学校給食事業特別会計】	
○学校給食センター整備事業費	3,066万円
【公共下水道事業特別会計】	
○公共下水道事業費	17億4,102万円
【水道事業会計】	
○配水管新設事業費	1億5,527万円
○配水管改良事業費	7,000万円
○配水管移設事業費	1億2,650万円
○幹線配水管整備事業費	2億2,320万円
○配水区域ブロック化事業費	2,000万円
○配水池新設関連事業費	3億2,700万円
○量水器整備事業費	5,649万円

の発現が、改革の成否を問うといっても過言ではありません。職員自らが、行政改革に取り組み意識の醸成に努め、職員が自らの発想を生かし、また、幅広く機動的に業務に取り組めるよう、大課制の導入やスタッフ制の拡充を視野に入れて、まず、係の統合を進めることとしました。

◆行政改革実施計画の見直しについてですが、現在の実施計画は、平成8年度を初年度とする5カ年計画となっています。地方行政を取り巻く激しい情勢変化の中で、時代に即応した事務事業の再構築や適切な組織体制の確立を図るため、改革実績の点検とともに実施計画自体の見直しを行ってまいります。

◆見直しにあたっては、市民に、より分かりやすい取り組みとなるよう、可能な限り数値目標の設定に努め、新たに地場産業の振興と直営事業廃止との接点を探ることも必要と考えています。

◆市民の幅広い市政への参画を進めるためには、市政に関する情報の提供が不可欠です。引き続き、広聴広報活動を強化するとともに、条例を制定して個人情報管理の適正な管理のもと情報公開を進めます。

四つ目の重点事項

大型プロジェクトの推進

総額80億円を超える新ごみ処理施設建設の本格的な推進

◆最大のプロジェクト、新ごみ処理施設

▼中間処理施設完成予想図



設については、平成9年度に着手しました。総額80億円を超える事業規模であり、本年は、本体工事など本格的な

投資の年を迎えます。

◆防災センター機能を有する消防庁舎については、これまで、その在り方や機能など基本的な検討を進めてきましたが、国の財政運営に流動的な要素も浮かがえしますので、建設のタイミングを逃すことのないよう、基本計画の見直しと必要事業費の再点検を行います。

◆火葬場の建て替えについては、基本計画をまとめましたが、厚生省において環境などの調査を行っていますので、その推移を見守って対応したいと考えています。

◆ネーチャーセンターについては、人と自然にやさしいまちづくりの拠点の施設として、基本的な機能や施設の規模などを検討するための調査を行うこととしました。

主要施策

- ① 人にやさしいまちづくり
- ② 安心して子どもを産み、健やかに育てることのできる環境づくり
- ③ 住み良いまちづくり

人にやさしいまちづくり

◆平成12年度から開始される介護保険制度を見据え、事業を円滑に進めるため、平成10年度から専任スタッフを配置して事務システムの構築やモデル事業を実施するとともに、施設の整備や人的資源の確保に努めます。

◆市内の医療機関や福祉施設、社会福祉協議会など民間関係機関やボランティア団体の有機的なネットワークによるサービス提供体制の整備を進めます。

◆障害者福祉については「登別市障害者のまちづくり指針」に基づき施策を展開してきましたが、間もなく「北海道障害者プラン」ができあがり、これとの整合性を図りながら「障害者福祉計画」を策定します。

◆精神に障害をもつ方の自立と社会活動への参加を促進するため、新たに民間が行う共同住居運営事業に助成し、通所授産施設や地域共同作業所などへの通所に要する交通費の一部を助成します。

◆高齢者福祉については、平成5年度に策定した「高齢者保健福祉計画」に沿って福祉基盤の整備やサービス提供体制、ボランティア活動の助長など総合的

的な対策を進めてきました。当初計画した施設整備目標については、民間の医療や福祉機関との連携のもと、ケアハウス（介護付き高齢者向けの集合住宅）を除き着実に推進していますが、人的資源やサービス提供量については、ばらつきがあり必ずしも十分な状況とは言えません。現行の高齢者保健福祉計画が平成11年度に終了することとなり、今後は、介護保険事業計画との整合性が求められることから、新たなプランづくりを進めます。

◆高齢の方や障害をもつ方にやさしいまちづくり事業については、引き続き公営住宅の改善や道路の段差解消、公共施設へのスロープ設置などを進め、本年度は、鉄南ふれあいセンターにエレベーターと車いす利用者用トイレを設置します。

◆地域医療の充実については、登別地区では「登別東クリニック」の本診療所が落成し、本格的な診療が開始されます。

◆人工透析に依存する患者が年々増加していますが、このほど室蘭市の総合病院から幌別地区へ人工透析部門の施設進出構想が示されたので、これを受け患者の利便性の向上を図ります。

安

安心して子どもを産み、健やかに育てる環境づくり

◆市は、総合計画に「安心して子どもを産み、健やかに育てる環境づくり」を重要な施策の一つとして位置づけ、登別版エンゼルプラン（子育て支援総合



計画の策定やファミリーサポーターセンターの設立、保育所機能の拡充などに取り組みてきましたが、子どもや女性、家庭を取り巻く環境が大きく変化し、新たな事態が出現しています。

◆神戸市の中学生による連続殺傷事件や最近のナイフ事件など、子どもによる殺人や傷害事件の多発は、子どもを取り巻く状況の深刻さを浮き彫りにし、子どもを産み育てる喜びや楽しみ、充実感よりはむしろ、子育てに対する不安感を増大させることが心配されます。

◆家庭や地域、学校など大人社会が気付かないうちに、子どもの人格形成が徐々にゆがめられていたという事実。このような事態は、経済効率優先や拝金主義、偏差教育や学歴偏重社会など大人社会のひずみが一因となっており、子どもの成長に大きく影響を与えているとの指摘もあります。

◆懸案となっている放課後児童対策については、きめ細かな児童館活動の展開を図り、教育経験者や子育てボランティアの協力のもと、公共施設を利用した児童クラブの運営など登別方式の事業構築ができないか、モデル地域を設定して具体的な検討を進めます。

住み良いまちづくり

◆都市基盤の整備については、昭和56年度に着手した公共下水道事業は、平成9年度末で44・4%の普及率となる見込みです。

◆平成10年度は、富岸町、新生町地区の供用開始に向けた面整備を進め、年度内には一部供用開始します。

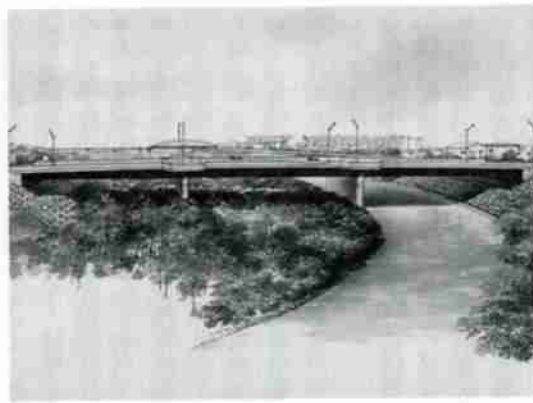
◆若草中継ポンプ場の実施設計を行うとともに、若草町、美園町、鷺別町地区と登別地区の一部を含む第4期認可区域の拡大について調査します。

◆上水道事業については、災害時の給水確保するため、引き続き給水区域

のブロック化を促進します。

◆民間の開発事業によって敷設された給水管の老朽化などにより水圧が低下している地区の解消や漏水の原因となる老朽石綿管の改良事業の促進に努めるとともに、3階以上建物への直結給水の実現に向けて水圧調査に取り組みます。

◆道路の整備については、広域幹線道路網の整備として、北海道が施行して



▲観別川橋りょう完成予想図

いる道道上登別室蘭線の観別川橋りょうの早期完成と登別温泉バイパス、北駅前通り事業の推進を図ります。

◆市道幹線については、引き続き環状通、円山通など都市計画道路の整備を進めるとともに石山通り、登別富浦路線、カルルス路線、富岸西路線、東札内線など基幹市道の整備を促進します。

◆坂道のロードヒーティング化を引き続き進めるとともに、鷺別旧墓地路線と美園57号線の歩道新設、照明灯の増設を

進めます。

◆国際観光都市としての登別らしい美しい景観形成を目指し、市民、企業、行政が共有する

長期的な目標とその実現のための方針を示す

「登別市景観形成基本計画」の策定に着手します。

◆緑化推進については、昨年スタートした緑化計画に基づき、本年度はさらに花とみどりの講習会の開催、緑化相談窓口の開設、家庭のみどりづくりのマニュアル作成など、みどりに対する意識の高揚に努めます。

◆公園の整備については、「岡志別の森運動公園」のテニスコートとジョギングコースは5月に、パークゴルフ場は8月に、それぞれオープンを目指し整備を進めます。

◆施設の老朽化が進み、市民の要望に合わなくなってきた公園・広場の整備については、本年度、「わかば公園」の再整備に取り組みます。

◆登別東町運動広場については、パークゴルフの練習場として活用できるよう整備を進めます。

◆公営住宅については、本年度内に市営桜木団地第1期を完成させるととも



▲昨年末に完成した美園7号線ロードヒーティング



▲建設中の市営桜木団地

に、道営住宅（仮称新川団地）の用地を確保し2棟目の建設促進を図ります。

◆高齢の方、障害をもつ方が入居している市営住宅については、安心して利用できるよう引き続き浴室、トイレなどへの手すりの設置や各室の段差解消を進めます。

◆高齢の方、障害をもつ方向けの民間住宅を含めた住宅施策の指針となる「住宅マスタープラン」は、本年度完成を目指します。

◆若山地区の区画整理事業については、引き続き地権者の理解を求めるとともに、合理的な事業手法の検討を行うほか湿地保全のための調査を実施します。

◆防災への取り組みについては、情報の収集と伝達の精度を高めるため、防災行政無線中継施設を鷺別地区に設置するとともに、栄町など海岸地区のサイレン吹鳴装置設置に向けた予備調査を行います。

◆防災研修会の開催や広報紙・イベントなどを通じて防災意識の高揚に努めるとともに、災害用食糧や毛布の備蓄、防災協力員および地区防災担当職員用器材の整備を図ります。

◆治山・治水対策、排水対策については、引き続き小規模治山、準用河川の改修を進めるとともに、観別駐屯地周辺の排水路整備事業、登別温泉中央通り道路災害防除事業、道路防災点検事業を継続し、災害に強いまちづくりを進めます。

◆消防体制については、鷺別支署の消防ポンプ自動車と救急自動車を高性能のものに更新するほか、引き続き大容量防火井戸の設置と消火栓の整備を進めます。

◆消防団員のもっている知識や技術を有効に活用するため、機関員制度を導入するほか、女性消防団員による防火啓発活動を進めます。



▲防火啓発などで活躍が期待される女性消防団員

教育行政執行方針(要旨)

学校教育

○学校教育

◆2002年以降において、学習指導要領の大幅な改訂が見込まれるため、登別市教育課程検討委員会による教育課程基礎編の作成について研修を深め、各学校における教育課程の移行が円滑に行われるよう準備します。

◆北海道教育委員会・胆振教育研究所などの研究指定校を含め、新規に3校を加えて、10校を教育実践研究校に指定し、各学校の研修活動が一層積極的に進められるよう教育実践意欲の高揚に努めます。

◆札幌小中学校は、4月1日に幌別小学校・幌別中学校に、それぞれ統合されますが、統合後も児童生徒が意欲的な学校生活を送られるよう万全を期します。

◆2002年からの完全実施が予定さ



▲ふれあい農園での稲刈り

れている学校週5日制の実施については、学校週5日制中学校区運営委員会の活動を引き続き支援するとともに、新たに札幌地区に運営委員会を設置し、地域における校外活動が活発に展開されるよう支援します。

◆学校週5日制資料「ふるさとのほりべつYOU・遊ガイド」については、その内容を一部改訂し新入学児童に配布します。

◆平成10年度は、小学校3・4年生で使用する社会科副読本の改訂時期にあたりますので、アイヌ語についても盛り込み、アイヌ民族の歴史や文化について、一層学習を深められるよう作業を進めます。

○幼稚園教育

◆家庭教育の在り方にも積極的に働きかけ、幼児についての情報交換を密にし、創意に富む特色ある教育課程の編成に工夫を凝らし、深さと広がりのある幼稚園教育の推進に努めます。

◆幼児期から読書に親しみを持たせるため、昨年度から取り入れた「読み聞かせ活動」の拡充を図ります。

○郷土学習と国際交流学習

◆郷土学習の一環として取り入れた「入浴体験学習」、国際性豊かな人材育成を目指す「外国青年招致事業」や「中学生海外派遣事業」、姉妹都市「白

▼入浴体験学習



石市との交流」などは引き続き実施します。

◆コンピューターを小学校にも順次導入します。

◆学校図書については、小・中学校ともに図書費の増額を図り、学校図書館の整備・充実を進め、その活用を促進します。

○生徒指導

◆児童生徒の「非行」や「いじめ」「登校拒否」の実態を踏まえ、各学校で人間尊重の基本理念に立った生徒指導の推進について教職員が組織的に研修を深め、校内生徒指導体制を見直し、教育活動全体に生徒指導の機能が浸透するよう、その徹底に努めます。

◆「いじめ」については、迅速・適切に対処する必要がありますので、「教育相談」や「いじめ相談電話」などの活用を周知するとともに、地域や関係機関との連携を一層密にして、その対応に努めます。

◆昨年、各学校に配布した児童生徒向けの「いじめ学習資料」の有効活用について、その徹底を図ります。

◆登校拒否児童生徒への対応については、これまでも、自然体験学習や宿泊交流学習などを実施してきましたが、これからも、学校・家庭との連携を密にして、一人でも多くの児童生徒の心が開かれるよう努めます。

○健康・安全指導

◆教員を対象に、事例に基づく相談技術などについての研修会、臨床心理士を招いた当該児童生徒の父母を対象とした懇談会の開催、家庭向け啓発資料の作成配布、専門職員による電話相談・来室相談、家庭・学校訪問などを引き続き実施します。

◆変質者、不審者が児童生徒につきまとう事件が相次いで発生しているため、昨年末には全道に先駆け、その防止対策の一環として若草小学校区に「こども110番・スタディちゃんの家」を設置しましたが、これからもこの事業の拡大を図ります。

◆これからも、関係機関の協力を得て「交通安全教室」を開催し、事故から身を守ることを日常的に実践する意識の高揚に一層努めます。

◆市内教職員の自主的な組織である「登別市教職員交通安全クラブ」の活動を支援します。

○学校給食

◆新たに食缶洗浄機を設置するなど、食中毒の防止や設備・調理などの衛生管理の徹底に努めます。

○ダイオキシン対策

◆緊急を要する課題のため、すでに、平成9年度の3学期より学校のごみ焼却炉の使用を全面禁止とし、可燃性・不燃性ごみの分別を行っています。今年度は、各学校にごみの一時的保管庫とシュレッダー(紙を細かく切りきざ

む機械)などを設置します。

社会教育

◎青少年教育

◆これまでも、街頭補導の強化と環境の浄化対策に取り組んできましたが、これからも「大型店非行防止連絡会」を定期的に開催したり、生徒指導担当教諭や地域の育成団体との連携を一層密にするなど、的確な情報交換と適切な対策を行い、青少年の健全育成に努めます。

◆新たに巡回専用車を配備します。

◎成人教育

◆市民で組織するサークルが、主体的に企画・運営する「マイプラン講座」について奨励してきましたが、さらに、その周知を図り活用を促進し、市民の多様な要請にこたえるため、各年代に応じた公民館講座の充実に努めます。

◆婦人短期大学については、学習者の要望を積極的に取り入れることや時代に即応した課題を提起するなど、一層学習内容の充実に図るとともに、女性団体の活動がより主体的・積極的に行われるよう努めます。

◆老人大学や大学院については、学習者の意向を取り入れ、学習内容の改善・充実に図るとともに、世代間交流や婦人短期大学との合同学習を進めるなど、これまで学び得た知識や豊かな体験などが生かされるよう努めます。

◆家庭教育学級については、父親の参

加を促す学習を企画するなど、内容の充実に図るとともに、関係部局とも連携して子育て支援事業の充実に努めます。

◎図書館

◆これまでも、蔵書数の拡大、他の図書館との相互貸借、道立図書館情報システムへの加入など、条件整備と図書館利用の促進に努めてきましたが、これからも、市民に親しまれる図書館の運営に努めます。

◆図書費の増額を図り、一層の図書整備・充実に努めます。

◆新図書館建設の指針となる基本構想の策定については、21世紀に対応できる図書館構想にちなんで、ボランティアによる「新図書館構想21人委員会」を設置し、意見を求め新図書館構想の参考にします。

◎芸術・文化の振興

◆これからも、文化協会をはじめ、関係団体との連携を図るとともに、三市の文化ネットワークの強化を図るなど、地域文化の振興に努めます。

◆体験学習や郷土芸能の保存・継承、伝統工芸などの制作実技講習の場として「文化伝承館」を広く活用するとともに、新たに指定された文化財を紹介するため「登別の文化財」の改訂を行



▲市立図書館児童室



▲文化伝承館で行われるさまざまな体験学習

い、郷土学習の教材として広く活用されるよう努めます。

◎スポーツの振興

◆体育協会をはじめ関係団体との連携を深め、スポーツ人口の拡大、競技力の向上を図り、一層スポーツの振興に努めます。

◆「岡志別の森運動公園」に造成中のテニスコートとジョギングコースは5月、パークゴルフ場は8月以降のオープンを予定しています。

◆「助登別市文化・スポーツ振興財団」は、設立3年目を迎え、これまで文化・スポーツ両面にわたって、積極的な事業を推進してきましたが、これからも市民の要望をとらえ、市民に親しまれる業務を推進するよう支援します。

◆新たに「陸上競技場」と「岡志別の森運動公園」の管理運営を助登別市文化・スポーツ振興財団に委託します。

◎生涯学習

◆登別市が生涯学習に具体的に取り組み始めて10年目にあたる今年には「生涯学習実践10周年記念事業」を開催し、これまでの活動の成果を公開・発表するとともに、21世紀への橋渡しにちなんで、21の実践団体や個人の表彰をするなど、意義ある事業を展開します。

◆事業の推進については「ふるさと広場実行委員会」や「ボランティア団体」など市民が総ぐるみで参加できるような努めます。



▲ふるさと冬まつり

◎施設の整備

◆老朽化などの課題を抱えている学校教育施設については、幌別東小学校と緑陽中学校の暖房設備を全面改修し、若草小学校校舎前面の舗装工事と給水管の取り替え、富岸小学校の水洗化を進めます。

◆社会教育施設については、市民プールの外壁補修、市営水泳プールの鉄骨塗装と温水シャワーの新設、陸上競技場の公認更新に伴う改修、総合体育館窓枠の改修、栄婦人研修の家の屋根ふき替え、鷺別公民館窓の改修を行います。

西

庄

2月14日(土)、川上公園で『第9回ふるさと冬まつり』（登別市ふるさと広場実行委員会主催）が開かれ、多くの家族連れでにぎわいました。会場には、実行委員会メンバー手作りの大小のすべり台やさまざま、市内教頭会によるアニメのキャラクターの雪像などが並び、子どもたちの人気を集めていました。中でも、長さ30メートルのジ

来年もまた一緒に来ようね

ヤンボすべり台には、ソリやビニール袋を持った子どもたちの長蛇の列ができ、迫力満点のす



べり台に「スピードが出てちょっと怖いけど面白い」と子どもたちは大喜び。雪の遊園地で思いきり遊んだ後は、登別市子ども会育成連絡協議会や登別市婦人短大同窓会などによるうどんやそば、おでんなどの露店で、冷えきった体を温めていました。

自分だけのひな人形できました

2月22日(日)、片倉町の郷土資料館・文化伝承館で『ひな人形づくり』が行われました。「ひな人形づくり」は、身近な材料から一つのものをつくりあげる喜びを、親子で感じてもらおうと開催されているもので、今年で5回目を迎えました。材料やお手本となる試作品は、同館を中心に活動しているボランティア団体SLGの会員らが約2カ月前から準備したもので、この日はSLGの指導のもと、参加した親子ら約100人は、2時間ほどで立派なひな人形を



完成させていました。今回初めて参加したという富岸小学校2年生の高森駿也くんは「今日は、お母さんと一緒に来ました。ひな人形の形にあわせて紙を切るの簡単だけど、のりで張り合わせるの難しい。できあがったひな人形は家に飾ります」と話してくれました。



たかもりじゅんや
高森駿也くん

経済の活性化とまちづくりに向けて



ふれあい懇談会

2月26日(木)、市役所会議室で『ふれあい懇談会』が開催されました。この懇談会はまちづくりをテーマに、地域で活躍する団体などと市長をはじめとする市幹部がひざを交えて語り合うもので、今回は、製造や建設、食品加工、通信、金融などさまざまな企業で組織された『異業種交流・のほりべつ水滴の会』のメンバー17人（13企業）と懇談が行われました。

懇談会では『異業種を通じた企業の活性化』をテーマに、異業種の取り組みによる成果のほか、「さまざまな機会をとらえた情報提供」や「地元の企業間で進めている開発品の積極的な活用」などについて、活発な意見交換が行われました。

3月1日(日)、エビかご漁が解禁となり、2日早朝、桜色に染まった『ボタンエビ』や『ナンバンエビ』が登別漁港で初水揚げされました。

初日の漁模様は、約1.2倍と昨年より少なめでしたが、跳ね上がる桜色のエビに漁港は一気に活気づきました。

エビかご漁は、えさのキュウリウオをつけた直径1メートルのかごを漁場に仕掛け、翌日揚げるという漁法。

登別産のエビは、登別漁港の虎杖浜・登別漁協共同荷さばき所でセリが行われたあと『活魚荷さばき施設』を利用し『活エビ』として札幌や室蘭のほか、本州方面に出荷されます。

桜色に活気づく登別漁港





昭和15（1940）年に札内尋常小学校として開校し、札内地区の教育の場と地域の文化拠点として歩んできた札内小中学校（仲川啓治校長）の開校式が3月21日（土）に行われ、その58年の歴史に幕を下ろしました。

児童・生徒数の減少や教育効果などについて、市と地域住民との話し合いが行われ、平成9年2月に決定した同校の閉校。

ありがとう 思い出の学びや

式には、小学生5人と、この春に同校を卒業した2人を含む中学生7人の児童・生徒をはじめ、同校卒業生や地域住民、学校関係者ら約200人が出席。同校で行われたさまざまな行事など楽しかった思い出をビデオで振り返った後、在校生を代表して中学2年生の泉田倫子さんが市長に校旗を返納。最後に出席者全員で『ほたるの光』を合唱し、長年親しんだ校舎に別れを告げました。4月から、在校生

は幌別小学校と幌別中学校で新たな学校生活を送ります。



活発に交わされた質疑応答

2月18日（木）、市役所議場で「女性模擬議会」が開催されました。この模擬議会は、登別市議会の主催（登別市共催）により、地方自治法施行50周年を記念して行われたもので、登別市では初めての試みです。

一般公募や各種団体からの推薦により選ばれた27名の「女性議員」は、総務、民生文教、観光経済、建設の各常任委員会に分かれ、各委員会の代表は、男女共同参画型社会の充実や福

祉・教育行政、活力あるまちづくりなどをテーマに市の考え方をただし、活発な質疑応答が交わされました。



議長を務めた三澤由比子さんは「議会や行政の仕組み、議員の役割などがとてもよく理解できました。女性の視点からとらえた鋭い質問もあり、一人ひとりが真剣に取り組んでいたと思います。とても貴重な体験でした」と話してくれました。



みさわ ゆい子 三澤由比子さん

ボランティアってなあに？

2月28日（土）、しんた21で『市民ボランティアフォーラム』が開催され、約120人の市民が参加しました。

だれもが持っている優しさを思い起こしながら、ボランティア活動の大切さを知ってもらおうと行われた今回のテーマは『みんなでつくるあったかい街』。

この日は、高校生や専門学校生らで組織するボランティアサークルのメンバーが、ボランティア活動の中で出会うさまざまな疑問を寸劇で披露し、会場の参加者に「ボランティアとは何か」を問い掛けました。

後半は、北海道職員で登別市出身の鳥居一頼さんが、ボランティアの心構えについてユーモアを交えながら講演しました。



2月28日（土）、カルルス町のサンライバスキー場を会場に『第34回カルルス温泉スキーまつり』が開かれ、スキーヤーや親子連れら約2千500人が冬の1日を楽しみました。

会場では、タイヤのチューブを利用した『チューブレース大会』や1千500個のもちを使った『雪上もちまき』、50組の親子が参加した『親子ポップスレー大会』など、さまざまなイベントが行われました。

林の雪の中に埋められたボールや棒を探す『オロフレ雪原宝探し』では、開始の合図とともに約200人の参加者が一斉に林の中に駆け込み、雪に埋もれながらも懸命に『宝』を探していました。

サンライバで『お宝』発見！

いきいき ボランティア

『ボランティアは自分の生きる姿勢』



「ボランティアは、人と知り合うきっかけを与えてくれます。知り合った人を理解することで新たな自分を発見し、生きる姿勢を見いだすことが出来る学習の場なんですよ」と語る鳥居一朗さん。

18年間の教員生活を経て、現在は北海道保健福祉部の福祉教育社会参加担当主査として、ボランティアや福祉活動の指導を行っています。

鳥居さんがボランティアに取り組むようになったのは、杜野町の仲洞爺小学校で教職に就いていた昭和48年。洞爺湖にごみがたくさん浮いているのを見つけて、子どもたちと一緒に清掃活動をしたのがきっかけでした。

「学校の勉強だけではなく、ボランティアに携わることによって子どもたちの考え方やものの見方が変わってくるんですよ。ボランティアを体験する機会をつくることで、子どもたちが生き生きと、やる気を起こさせることが出来る」と確信しました。それからは「福祉の心を育てる教育」について真剣に考え、取り組むようになりましたよ」と話す鳥居さん。

平成4年には鳥居さんの故郷・登別市で、小・中学生や高校生が泊まり込みでボランティアを体験する「ワークキャンプ」を養護老人ホームで開催し、子どもたちがボランティアに接する機会づくりを進めてきました。

現在、鳥居さんは北海道の福祉教育計画づくりや道内の各市町村で行われる講演会の講師として活躍するかわらわら、福祉教育に関する執筆活動など、福祉の心の醸成に努めています。

「高齢化社会は決してマイナ社会ではありません。成長社会なのです。平成12年から介護保険制度の導入が予定されていますが、介護保険とのかかわりの中で、地域におけるボランティアの果たす役割は大きいと思います。ボランティアは誰にでもできることなんですよ」と話す鳥居さんは「ボランティアの風」を起す福祉の先駆者として活躍しています。

▼ボランティアについての問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター
(☎ 2080)

ちよつとひとこと

楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクスでお寄せください。

企画広報室 中央町6-11 ☎1-222 FAX1-108

積極的な行政改革を!

広報のほりべつ2月1日号の特集「21世紀を見つめた行政改革」は、昨今の経済情勢や企業のリストラなどを考えると、まだまだ厳しさが感じられないように思います。市役所の仕事をしているのは職員のみなさんですから、この登別市を良くしていくには職員全員の心構えと実行にかかっているというのは言い過ぎでしょうか。北海道で一番大きい銀行がつぶれ、大手の証券会社も自己破産し、そこに勤めている人たちはいったいどうなるのでしょうか。国内経済もまだまだ厳しく、これからのことを考えると不安だらけです。市役所は「市民に役立つ所」であって「市役所職員の役に立つ所」ではありません。職員の給料や職員数の減といった行政改革をもっと積極的に行ってほしいと思います。

(若山町4丁目の住人)

【お答えします】
貴重なご意見ありがとうございます

当市の行政改革を進めるにあたっては、職員一人ひとりが市民のみなさんの立場に立ち、自覚と責任を持って取り組むとともに、現在取り組んでいる「行政改革実施計画」につきましても、社会情勢の変化などに応じ、常に新しい視点に立って見直しを行いながら進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。今後とも、行政改革のみならず、市政に対するご意見などをお寄せください。

(総務部行政管理課・企画広報室)

ご意見・ご感想をお寄せください

市民のみなさんにいっそう親しまれる広報紙を目指して、平成10年5月1日号から「広報のほりべつ」の紙面が一部変わります。

新しい「広報のほりべつ」に對するみなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

(総務部企画広報室)

ちよつとひとこと

紙面上では匿名でも氏名、住所、電話番号をお知らせください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話はご遠慮ください。

ちよつとひとこと

ちよつとひとこと

仲間たち

ボニー・クラック

団長 田中ミネ子さん

(☎88185)

『心をつなぐハーモニー』

「初心者の方でも練習をすれば、どなたでもコーラスに加わることが出来ます。大きな声を出すことはストレスの発散になりまし、腹式呼吸は健康にもつながるので、心も体もリフレッシュできるんですよ。家に閉じこもっていたり、これから何か始めた」と考えているお母さんにぜひ勧めたいですね」と話す団長の田中ミネ子さん。

昭和57年に若草小学校PTAのコーラスサークルとして結成されたボニー・クラック。昭和62年にはPTAのサークルから独立し、登別市文化協会コーラス部所属の女声コーラスグループとして活動を始めました。現在の団員数は11人で、30代から50代までの主婦が毎週金曜日の10時から2時間、鷺別公民館や若草つどいセンターで練習しています。日ごろの練習の成果は、毎年秋に開催される市民文化祭の「合唱のつどい」や年末の「年忘れ演芸会」などで、その美しい歌声を披露しています。



「練習を積み重ねて、全員の声が一つの美しいハーモニーをつくり上げる。それがコーラスの魅力です。舞台上立って大勢のお客様の前で歌った後の快感は最高ですね。そろいの衣装を着てスポットライトを浴びたとき、そこには歌う喜びを知ったもう一人の自分がいます。一度歌ってみると、きっと新しい自分を発見することが出来ますよ」とコーラスをこよなく愛する田中さん。

ボニー・クラックでは、団員を募集しています。入団を希望する方は、田中さんまでどうぞ。

がらび

柔らかさが自慢の

『ウマミサーモン』と

『ウマミたら』

〜岩島水産(富浦町)〜

「地元産の秋サケやスケトウダラを加工して何とか商品化できないかと、いろいろ工夫してつくりあげたのがこのウマミシリーズです」と話す同水産の岩島順子さん。登別漁港では、近海で採れた秋サケやスケトウダラが水揚げされます。これを利用して、子どもからお年寄りまで食べやすいものを作ったのが、塩味・しょうゆ味のスケトウバ「ウマミサーモン」とスケトウダラを乾燥させた塩味の



「ウマミたら」です。

サケやスケトウダラを干したものは、硬くて歯ごたえのあるのが一般的ですが、同水産の製品は柔らかく加工したところが特色です。

「近ごろは魚を食べない子どもが多く、カルシウム不足になりがちですが、このウマミシリーズは、かむとほぐれる柔らかさが子ども

のおやつに良いと評判ですよ」と話す岩島さん。

商品化にあたっては、商品名や商品ラベルなどについて家族でいろいろと相談し、採用となった力作が「ウマミサーモン」と「ウマミたら」。

「今の味に落ち着くまでは試行錯誤の繰り返しで、本当に苦労しました。製品には防腐剤を使っていないので、購入後はお早めに召し上がりください」と岩島さん。

同水産には、ウマミシリーズのほか、サケを細かく刻み、ごまと昆布を混ぜふりかけ風にした「サケごまちゃん」もあります。

購入希望の方は問い合わせください。

▼問い合わせ 岩島水産(富浦町) 1丁目16-1 ☎1416

あすなろ

どうさんみちよ
道三美千世さん

(23歳)

室蘭信用金庫

幌別支店勤務



「人と話をするのが好きなんです。窓口では、さまざまな年代の方とお会いしますので、いろいろなお話をさせていたただくんです。が、とても楽しいですよ。窓口業務を担当してつらいと思ったことはありません」と話す道三さん。

室蘭商業高校を卒業し、就職して6年目を迎えた道三さんの motto は「お客さまにはいつも笑顔で親切に接すること」とか。

「就職して最初に勤務したのは、

下水道料金を

7月1日から改定します

市は、私たちのまち「のほりべつ」を住み良いまちにするため、さまざまな都市基盤の整備を進めてきました。

中でも、昭和56年度に着手した公共下水道事業は、平成10年3月末で44・4%の普及率となる見込みで、平成10年度には富岸町や新生町などの整備を予定しています。公共下水道事業は、事業完成までに長い年月を必要とし、また、膨大な費用を伴います。

私たちが生活していくためには水は欠かすことのできない大切な資源です。

家庭の台所やトイレ、事業所、工場など、さまざまな場所で作られた水は汚れてしまいます。汚れてしまった水を浄化せず、川や海に流した場合、自然環境に及ぼす影響は計り知れません。

美しい自然環境を守り、大切な資源を次代に引き継いでいくためにも、公共下水道の整備を積極的に進めていく必要があります。

しかし、下水道整備区域の拡大に伴う下水管の新設や中継ポンプ場の建設、汚水の処理量の増加、既存施設の維持管理費などさまざまな経費の増大により、下水道事業の健全な運営が困難になってきています。

市は、下水道事業の円滑な推進と財政の健全化を図るため、4年ぶりに11・49%の上げ幅で7月1日から下水道料金の改定を行います。

下水道使用料改定料金 (1カ月につき)

用途	基本料金		超過料金	
	基本水量	金額	水量	1m ³ につき
一般用	8 m ³ まで	1,320円	8 m ³ を超え 20 m ³ まで	170円
			20 m ³ を超え 50 m ³ まで	175円
			50 m ³ を 超えるもの	180円
公衆浴場	100 m ³ まで	2,500円	100 m ³ を 超えるもの	25円

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、最近のトイレ水洗化工事費用の高騰に配慮して、4月1日から排水設備などの工事資金の貸



付限度額を、現在の48万円から59万円（排水設備工事費21万円、水洗トイレ改造工事費38万円）に引き上げるとともに、排水管の延長によって排水設備工事費が21万円を超えたときは、超えた額の2分の1を貸付限度額に加算する新たな制度を導入します。

問い合わせ

水道部下水道課

(055) 255-2222

キラキラ

『夢と感動を与えてくれた世紀の祭典』 の祭典

(長野冬季オリンピックに
カーリング審判員として参加)

佐々木 昇さん(53歳) 千田雄治さん(48歳)
竹澤弘雅さん(38歳)

平成10年2月、夢と感動を与えてくれた世紀の祭典が全日程を終え、その幕を閉じました。

私たちのまち『のぼりべつ』からも、この祭典に参加した方がいます。

長野冬季オリンピックのカーリング(※)審判員として参加した3人に話を聞きました。

カーリングを始めたのはいつごろですか

◆「カーリングを始めて9年目を迎えました。平成元年に創設された室蘭カーリング協会の会員として、創設当初から選手として活動してきました。平成6年ごろから指導員や審判員についても学び、今では3人ともA級インストラクターとB級審判員の資格を取得し



千田雄治さん



佐々木 昇さん

オリンピックに審判員として加した感想は

◆「感激しました。そして、審判員の責務の重さを改めて感じました。世界最高レベルの選手のプレーを目の前で見ることができ、その技術と作戦、集中力のすばらしさに感心しました。審判の判断にメダルの行方がかかってくる場面もあります。全国クラスの大大会の審判を何試合もこなしましたが緊張の度合いが違いましたね」

カーリングの魅力は

◆「ゲームの駆け引きと奥深さですね。知力・体力、そしてチームワークが勝敗を左右します。年齢に関係なく楽しめるのも魅力の一つですね。初めての方でも2時間ほど練習すれば、カーリングの面



竹澤弘雅さん

白さを実感できますよ」

審判員は決して目立つことのない縁の下の力持ち。

しかし、多くの人の心に感動を生んだ世紀の祭典は、それを陰で支える方の努力と熱意無しには成り立ちません。

重責を果たした水上の男たちは、今日もカーリングのさらなる普及と自己の技術向上を目指して活動を続けています。4年後の熱い戦いのために。

カーリングに興味のある方は、室蘭カーリング協会事務局斎藤さん(☎072491)までどうぞ。

※カーリング：氷の上で行うスポーツの一種。ハンドルのついた平らな円形の石を投げて滑らせ、標的となる円内に入れて得点を競う。

遊遊 自適

松田政治さん(73歳)

『はるかなる雲海を目指して』

「私にとって登山は最高のスポーツですよ。山の澄んだ空気を腹いっぱい吸い込み、たっぷりと汗を流す。黙々と歩くことで体ばかりか心まで澄んでいきますよ。でも、体力がないと登れませんから日ごろのトレーニングは欠かせないですね。今でも2週間に1回は中央町の市立図書館へ歩いて本を借りに行ったり、週に3回は自宅から室蘭の東町までの往復10kmを歩いたりしています。借りた本は返さないといけませんから、運動するの都合がいいんですよ」と話す松田政治さん。

「山を眺めていると無性に登りたくありませんね。山が呼んでいるんですよ。山の高さは関係ありません。何も考えずただひたすらに歩き、苦労して頂上まで登りつめたときの達成感。これが登山の魅力ですよ。この感動は経験しないと分からないですね。これからは体力の続く限り登り続けよう」と話す松田さんの情熱という名の山頂はまだまだ見えてきません。



仕事のストレスを解消するため、50歳のとき足を踏み入れた登山の道。24年目を迎えた現在は登別山岳会の顧問を務めながら、最高齢の会員として今もなお現役で山に登り、3年前にはネパールにある6千級の山に挑んだそうです。

「ネパールの思い出は忘れられ

情報あらいかると

市街化区域・市街化調整区域が一部変更されます

給水装置工事業者の指定要件が変わります

水道法の一部が改正され、給水装置の指定工事業者の指定要件が変わります。

※なお、新しい制度は平成10年4月1日から適用されます。

▼指定要件

- ◎事業所ごとに給水装置工事主任技術者が専属していること
- ◎厚生省令で定める機械器具を有していること
- ◎一定の欠格要件に該当しないことなど

※詳しい指定要件については問い合わせください。

▼問い合わせ 工務課

(☎5510)

NHK室蘭放送局からのお知らせ

NHK室蘭放送局は、室蘭市の測量山山頂にある、NHK総合テレビのアンテナ設備の取り替え工事を行います。工事期間中は、測量山山頂付近の駐車場を利用できません。

ご迷惑をお掛けしますが、ご

協力をお願いします。

▼工事期間 4月17日(金)～6月20日(土)

※なお、次の期間は駐車場を利用できません。

◎4月29日(水)～5月6日(水)、5月17日(日)、6月13日(土)、6月14日(日)

▼問い合わせ NHK室蘭放送局 (☎27271)

弓道体験講座を開催します

日本の伝統武道、弓道を体験してみませんか。

▼日時 5月6日(水) 開講 昼のコース(水・金曜日) 13時～15時(全10回)

夜のコース(水・金曜日) 18時30分～20時30分(全10回)

▼場所 室蘭市弓道場(室蘭市宮の森町1丁目1-1)

▼対象 高校生以上の方

▼受講料 1千円

▼定員 各コース10人(申込順)

▼申し込み・問い合わせ 4月20日(月)までの13時～17時に室蘭市弓道場松崎さんまたは米田さん (☎6363)

北海道は、室蘭圏(登別市・室蘭市・伊達市)の都市計画市街化区域(※1)と市街化調整区域(※2)の一部を変更する素案を3月20日付で告示しました。

※1 市街地として積極的に開発・整備を行う区域

※2 市街化を抑え、原則として家が建てられない区域

変更の基本方針

現在定められている都市計画は、平成12年を目標として計画されています。

今回の変更案は、平成17年を目標とし、都市計画基礎調査を

基本に人口規模、土地利用計画などにより市街化区域の規模が見直されます。

公聴会でみなさんの

ご意見を

市街化区域・市街化調整区域を変更する素案について、公聴会を開きます。

▼日時 4月22日(水) 14時

▼場所 胆振地方婦人会館(室蘭市東町4丁目29-1)

▼申込方法 素案に対する意見を述べたい方は、要旨と理由住所、氏名を記入し、4月15日(水)までに☎060-8588札幌市中央区北3条西6丁目北海道建設部まちづくり推進室

都市計画課あてに書面で申し込みください(申し込みをした方と学識経験のある方の中から公述人を定め、本人に通知します)

◎公聴会の傍聴は自由ですが、会場の都合で先着150人で締め切ることがあります。ご了承ください。

素案・公聴会についての問い合わせ

都市計画課 (☎5411-5) または北海道建設部まちづくり推進室都市計画課 (☎011-232-4111)

変更区域

市街化区域に編入する区域

- ①富岸町3丁目の一部
- ②富岸町3丁目の一部
- ③常盤町4丁目の一部
- ④登別本町3丁目の一部
- ⑤登別港町1・2丁目の一部

市街化区域から市街化調整区域に編入する区域

- ⑥新生町6丁目の一部
- ⑦千歳町の一部

市街化区域への編入を保留する区域(※3)

- ⑧若山町1～3丁目の一部
- ・富岸町1丁目の一部

※3 市街地整備が確実に進んだ段階で市街化区域に編入できる区域。

登別市嘱託員募集

市は、総合福祉センター（しんた21）の栄養士を募集します。

▼職種・人員 栄養士1人

▼手当（月額） 13万4千800円

▼雇用期間 平成10年5月1日

～平成11年3月31日

▼試験月日 4月14日（火）

▼試験方法 面接試験・適性試験

▼受験資格 昭和14年4月2日以降に生まれた方で、栄養士の資格を有し、普通自動車運転免許取得後2年以上の方

▼申込方法 職員課と各支所に備え付けの申込書に必要事項を記入し、4月9日（木）までに職員課に持参してください

▼申し込み・問い合わせ 職員課（☎01132）

学校の体育館を

開放します

教育委員会は、地域のスポーツ活動を促進するため、小・中学校の体育館を開放します。

▼開放校 登別温泉中学校、登別中学校、登別小学校、幌別東小学校、幌別小学校、青葉小学校、若草小学校、鷺別小学校

▼開放期間 平成10年5月11日（月）～平成11年2月末

▼使用時間 18時～21時

▼対象 市内に居住または勤務している方10人以上で組織され、スポーツ安全保険などに加入し、興業、その他の私利を目的としない団体

▼申込方法 4月21日（火）までに総合体育館または社会教育課（市民会館内）に備え付けの申請書に必要事項を記入し申し込みください

▼申し込み・問い合わせ 社会教育課（☎01100）

「千人太鼓」打ち手募集

白鳥大橋千人太鼓実行委員会は、8月9日（日）に開催される白鳥大橋開通記念イベント「千人太鼓」で演奏する合同演奏曲「山彦」の打ち手を募集します。練習会は5月から行います。

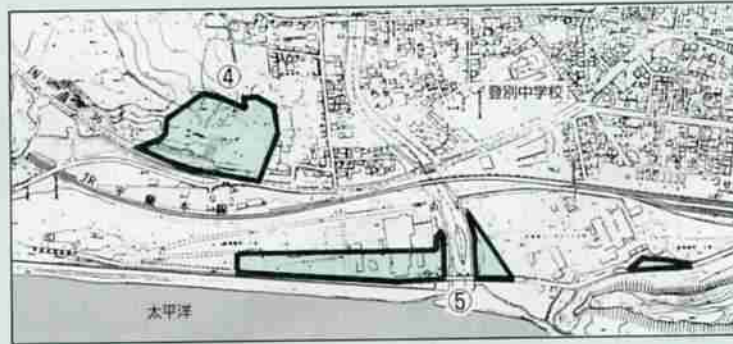
▼対象 年齢・性別は問いません（小学校低学年以下の方は父母同伴を原則とします）

▼申込方法 官製はがきに山彦練習会参加希望と明記のうえ、住所・氏名・年齢・勤務先または学校名・学年・電話番号を記入し、4月20日（月）までに☎05910035若草町2丁目24-10登別太鼓同好会森正信さんあてに申し込みください

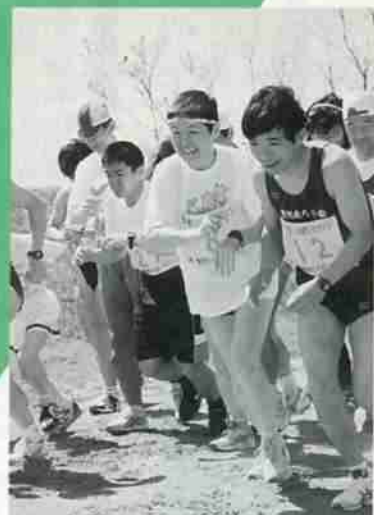
※なお、締め切り後、説明会の案内を送付します。

▼申し込み・問い合わせ 森さん（☎01157）

市街化区域・市街化調整区域の変更素案図



凡	例
①～⑤	市街化区域に編入する区域
⑥・⑦	市街化区域から市街化調整区域に編入する区域
⑧	市街化区域への編入を保留する区域



このまちが 好き

春風と太陽を
全身で受け止めて

青空に何匹ものこいのぼりが泳ぐとき、春風とともに子どもたちがまちを駆け抜けていきます。そう、今日は5月5日の子どもの日。のぼりべつに春を告げる子どもたちの日。

◎第23回こいのぼりマラソン大会

▼月日 5月5日(火)(小雨決行)

▼時間 受付9時、開会式9時50分、スタート10時30分

▼場所 市営陸上競技場

▼コース 3.0km、5.0km、7.0km

▼参加料 中学生以下500円、高校生以上1千円

▼申込方法 市内の小・中学校、各支所、総合体育館、市民会館に備え付けの申込書に記入のうえ、4月15日(水)(当日消印有効)までに郵便振替で参加料を入金してください

※大会当日の参加申し込みは受けしません。また、申し込み後の参加料はお返ししませんのでご了承ください。なお、参加申し込みをした方にゼッケン受け取りのしがきを郵送します。大会当日、しがきを持参してください。

▼問い合わせ 社会教育課

(☎)1100

となりまち

ホットライン

室蘭市

Jリーグがやって来る

コンサドーレ札幌をみんなで応援しよう!

▼会場 室蘭市入江陸上競技場

▼日程 4月4日(日) 13時 VSガンバ大阪

4月25日(日) 14時 VSヘルマーレ平塚

5月2日(日) 13時 VSヴェルディ川崎

5月9日(日) 13時 VSジェフユナイテッド市原

▼料金 指定席：4千円(当日4千500円)、自由席：大人2千円(当日2千300円)、小・中学生1千円(当日1千300円)

▼チケット取扱先 ローソン各店(自由席のみ)、チケットセゾン(☎011-232-9999)

▼問い合わせ コンサドーレ札幌(☎011-218-3988)

伊達市

園芸ファン集合!

第22回だて緑と花のまつり

木々や草花が一堂に芽吹く春。伊達市と伊達市花木生産組合は、今年も「だて緑と花のまつり」を開催します。まつりのメイン「園芸市」は、期間中毎日開催され、ツツシヤやオノコなどの庭木類や色とりどりの草花が安価で販売されます。

また、会場では花木生産者による育成相談をはじめ、野菜の種子や培養土の即売なども行っています。緑と花いっぱい会場へどうぞお越しください。

▼期間 4月28日(火)~5月10日(日)

▼会場 JA伊達グリーンセンター前広場(末永町・西小学校前)

▼問い合わせ 伊達市都市計画課

(☎)42666666

